

第7回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会

2016年6月11日(土)～12日(日)

@浅草ビューホテル、台東区立浅草公会堂、台東区民会館、東京都立産業貿易センター台東館

| ワークショップ 12  |                                      |
|---|--------------------------------------|
| 企画名   | 明日から処方したくなる OC・LEP 製剤                |
| 日時  | 2016年6月11日(土) 15:00～16:30            |
| 会場  | 第14会場 (台東区民会館 9階 特別会議室(大))           |
| 企画責任者   | 井上真智子 (静岡家庭医養成プログラム/浜松医科大学地域家庭医療学講座) |
| 定員  | 40名                                  |
| 開催の目的・概要  |                                      |
| <p><b>【開催の目的】</b></p> <p>非産婦人科プライマリケア医が、自施設の日常診療において、OC(Oral contraceptives:経口避妊薬)および、LEP(Low dose estrogen-progestin:低用量エストロゲン-プロゲステロン) 製剤処方を実践できるスキルを修得する。</p>  |                                      |
| <p><b>【概要】</b></p> <p>OC・LEP 製剤処方は、プライマリ・ケアの女性診療における有力なツールの1つであるが、日常診療での処方にあたってはハードルが高いと感じているプライマリ・ケア医も多い。</p> <p>我々が行った調査では、処方に際しプライマリ・ケア医が感じるハードルには、以下6つのステップから構成されていた。すなわち、①ニーズの発掘と認識②知識の修得③実践に必要なツールの取得④実践⑤フィードバック⑥日常におけるサポートである。</p> <p>今回の企画は、これら6つのすべてのステップをサポートする内容となっている。ワークショップ当日は、基本知識の修得だけでなく、ロールプレイなどを通じたシミュレーション、さらに、実践における問題点についてのディスカッションを行い、文字通り「明日から処方したくなる」状態になることを目指す。さらに、希望者に対しては、SNSを利用したプリセプティングシステムへの加入、近隣産婦人科医への紹介などを行い、ワークショップ終了後の継続的実践を支援する。</p> |                                      |